

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	座喜味 一幸(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 支庁組織の改編について 支庁再編の目的は、地方分権の中で簡素で効率的な組織を構築し、重要な課題に対しピーディーに対応し、よりよい住民サービスを提供するとしている。</p> <p>(1) 旧支庁長体制に比べ、機能性、効率は向上するが統括・調整機能が低下するとの指摘にどのように対処するか示されたい。</p> <p>(2) 組織改編に当たって観光、中小企業振興、環境事業、食の安全等の行政ニーズはどのように対応するか。</p> <p>(3) 支庁再編の効果を示されたい。</p> <p>2 宮古病院の基本計画の進捗状況について 地域の中核的医療を担う宮古病院の新築移転については地域の実情を反映した施設整備を期待している。</p> <p>(1) 基本計画の策定までのスケジュールは。</p> <p>(2) 宮古病院整備基本構想との整合について ア 1病床当たりの建築面積はどうか。 イ 大規模災害時の医療を確保するための機能の配慮はどうか。 ウ 新病院の建設用地の十分な確保のための市との協議はどうか。</p> <p>3 新過疎法の制定について 現行の過疎地地域自立促進特別措置法は平成21年末をもって期限を迎えるが、過疎地域の厳しい「地方財政」状況から、今後においても「法律に基づいた国の特別な支援は不可欠である。」</p> <p>(1) 新過疎法の制定についての県の取り組みについて ア 沖縄県における新過疎法制定の必要性について イ 現行の過疎対象市町村と財政効果について ウ 新過疎法制定に向けての取り組みについて</p> <p>4 我が国の粗飼料の自給率は76%、飼料自給率は24%と低く、飼料自給率の向上は緊急の課題である。</p> <p>(1) 沖縄県における粗飼料及び飼料の自給率の現状は。</p> <p>(2) 飼料等の自給率向上の対策と目標を示されたい。</p> <p>(3) 飼料自給率の向上対策として取り組まれている給与技術の一つであるTMR法の県での実績と可能性はどうか。</p> <p>(4) 夏植えさとうきびの間作として穀物、飼料作物栽培を推進する考えはないか。</p> <p>5 多良間地域における基盤整備について 多良間村における圃場整備及び農業用水の確保は重要な課題である。</p> <p>(1) 基盤整備率の現状と目標を示されたい。</p> <p>(2) 地下ダム開発の可能性と事業化の予定を示されたい。</p> <p>6 東シナ海海洋資源の開発利用について 沖縄県の自立的経済発展にとっては、東シナ海における海洋資源をいかに利活用するかは重要な課題である。</p>			

- (1) 県は、東シナ海の海洋資源についてどのような情報を有しているか。
- (2) 陸地内における天然ガスの利活用の可能性について積極的に取り組む可能性はないか。

7 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	糸洲 朝則(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 平和行政について 6・23「慰霊の日」にクールアースデー、七タライトダウンを先行して実施し、全戦没者を初め全精霊に哀悼の誠をささげ、平和を祈念し、夜空を見ながら平和を語り合う時間を設定してはどうか。平和への祈り、自然への回帰、自然との共生、あるいは観光資源等々、多くの波及効果も期待できると考え、提案し、知事の所見を伺います。</p> <p>2 農林水産行政について (1) 燃油、生産資材等の高騰対策支援の国及び県の取り組みについて伺う。主な施策と実施状況、また課題等について概要を説明願う。 (2) 本県の農業産出額906億円のうち、383億円、42.3%を畜産業が占めている。畜産振興の施策と目標設定等、本県の畜産業振興対策について伺う。 (3) 本県の離島の基幹作目は、さとうきびと肉用牛が主である。離島であるがゆえの課題の一つに輸送コストが上げられるが、対策はないか伺う。</p> <p>3 離島振興について 先日も離島フェアが盛大に開催され、多くの人出でにぎわった。年一度の行事は定着しており、これを一步踏み込んで日常的に離島の品物が売買できるアンテナショップの設立はできないか。県が場所を提供し各離島に割り当て、各島々がそれぞれの特徴を出し合って、協力し合う体制ができないか伺います。</p> <p>4 建築行政に関する建築確認手続及び構造計算適合性判定の円滑化に向けた取り組みについての国交省からの通達の実施状況について (1) 建築確認手続の円滑化について ア 事前相談等の継続について イ 確認審査等に係る指針の運用について ウ 構造方法等の設定に係る認定書の写しの提出について エ 軽微な変更の運用について (2) 構造計算適合性判定の円滑化について (3) 建築構造サポートセンター</p> <p>5 教育行政について (1) 港川フィッシャー遺跡を視察した知事と教育長の感想及び今後の取り組みについて伺う。 (2) 南城市玉城字前川の「ガンガラーの谷」内にある「武芸洞」入り口付近で、縄文時代晩期(約2000年前)と考えられる石棺墓一基が発見され、大人の人骨一体と子供の人骨一部が確認されましたが、県の対応と今後の取り組みについて伺う。 (3) 知事、教育長の現場視察について</p> <p>6 野犬被害対策について (1) 沖縄市を中心に豚やヤギの野犬被害について、実態と対策を伺う。 (2) 野犬の実態把握と対策について (3) ペット類の放棄対策について</p> <p>7 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	翁長 政俊(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事は、外交・防衛は、国の専権事項と言われていることに対し疑義を呈する発言をされておりますが、その見解を伺いたい。</p> <p>(2) 今般の厳しい県下の経済環境にあつて、知事が考える経済対策と事務方案に乖離があつて、緊急総合経済対策会議で知事が激怒との報道がなされているが、事務方案に何が足りなくて、何が必要であるのか知事の考え方を示してください。</p> <p>2 商工観光行政について</p> <p>(1) 金融経済危機に伴う県内経済、雇用への影響と、特に観光産業や入域客の減少に直結するのでないかと懸念をしておりますが、県の予測と対応策を伺います。</p> <p>(2) 産業基盤を支える人材育成を目的に創設された、国立高専、ポリテクカレッジの卒業生がエンジニアとして県内で就職できず、7割の卒業生が県外流出している現状を県はどう認識しておられるか、今後の対策とあわせて伺います。</p> <p>3 農業行政について</p> <p>(1) 後継者育成事業については、従来の発想を転換し農業に従事する若者が継続的に生活し子育てができるように、また再就職支援事業として雇用対策にもつながるような成功モデルを示すことが必要と考えます。県の考え方を示してください。</p> <p>(2) 農産物の市場流通経費がコストの7割を占める農業経営を改革し、削減対策に予算・人材を投入することが、県内農家を守り育成する早道だと考えますが、県の考え方を伺う。</p> <p>4 土木建築行政について</p> <p>(1) 建設業界は低入札競争で体力低下が限界にあります。沖縄県が採用する公契連モデル及び沖縄県財務規則第129条第1項の見直しが必要と考えますが、県の方針を伺う。</p> <p>(2) 県は設計金額を入札前に事前公表しており、低価格入札の元凶と言われているが、事後公表に改める考えはないか伺います。</p> <p>(3) 改正建築基準法に伴う建築確認手続の停滞に関し、国や県の一応の改善策にかかわらず根本的な解決策になっていないとする現場の声について、県の対策を伺います。</p> <p>5 二輪駐輪場の設置について</p> <p>(1) 二輪駐輪場を公共施設や県道の空きスペースを利用して設置することについて、県の考えを伺う。</p> <p>(2) 二輪駐輪違反取締法が強化されバイク利用者は市街地にとめる場所がなく、取り締まり強化に泣かされております。駐輪場所不足は否めません。全国一高い違反摘発とあわせて県警の所見を伺いたい。</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	上原 章(公明県民会議)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 経済対策について

- (1) 失業率の推移、企業の雇用情勢・倒産状況、大学・専門・高校等の就職内定率の推移を伺います(対前年比)。
- (2) 経済・雇用対策の取り組み状況及び効果を伺います。
- (3) 「県単融資事業」について
 - ア 「原油高騰対策支援資金」の活用状況と課題、対策を伺います。
 - イ 経済団体や公明党県本部のアンケート調査で同制度の周知不足が浮き彫りになっています。県の認識、対応を伺います。
 - ウ 「県単融資事業」の利用促進のため、活用状況の実態調査(事業別の申し込み数・実行数・執行率等)、中小企業のニーズの把握、関係機関との連携が重要と思うが、取り組みを伺います。
- (4) 10月31日から実施された「緊急保証制度」を県の実施している「原油高騰対策支援資金」とあわせて、保証協会の保証料を県が負担する考えはないか伺います。
- (5) 「定額給付金」について
 - ア 国からの説明会があったそうですが、目的と内容を伺います。
 - イ 日経新聞では63%の方が「賛成」と伝えています。所得の低い人や収入のない高齢者、小さな子供を抱える若いお母さん方から、一日も早い実施をとの声が寄せられ、小売業や商店街の皆さんからは、個人消費を喚起する効果があると期待されています。県民所得が全国一低く、島嶼県である本県にとって時宜を得た取り組みと考えるが、知事の見解を伺います。
 - ウ 「定額給付金」の実施により、本県には総額幾らの金額が給付され、その効果について見解を伺います。
 - エ 給付までの手順(支払い方法)、スケジュールを伺います。

2 福祉行政について

- (1) 妊婦健診について
 - ア 国は、新たな経済対策で平成21年度より(2年間)14回分の健診費用を無料にすると決定しました。県の対応を伺います。
 - イ 現在、県内は5回の無料化を実現しているが、一部自己負担(2000円)が発生し、健診率向上や無料化の評価につながっていないとの声があります。完全無料化にできないか伺います。県内で完全無料化実施の市町村はどこか。
 - ウ 里帰り出産にも適用されるものとするが、県内はどうなっているか。
- (2) 発達障害児支援の取り組みについて
 - ア 「次世代育成支援対策行動計画」に組み込む必要があると考えるが、見解を伺います。
 - イ 発達障害児、その家族に対する途切れのない支援システムの構築が求められているが、現状及び対策を伺います。
 - ウ 南部医療センター・こども医療センターの「こころの診療科」の専門スタッフが不足しています。県の認識と対策を伺います。
- (3) ドクターヘリ運航について

ア 12月から運航したドクターヘリで対応する最も遠い地域の距離、時間を伺います。

イ 北部市町村会は北部地域にドクターヘリ導入促進を求めており、舛添厚生労働大臣も沖縄県に2機目の導入を提唱しています。出勤要請が重なったときの対応も含め2機目は必要と考えるが、見解を伺います。

3 行財政改革について

(1) 行財政改革プランの推進状況と課題を伺います。

(2) 知事は、「県財政が厳しく、さらに抜本的に行革に切り込む」としているが、新改革プランの特徴を伺います。

(3) これまで外部評価者を入れた公開の場での「事業仕分け」を提唱してきましたが、県の対応を伺います。

4 法テラスについて

(1) 法的トラブル解決のため、無料で法律相談ができる「法テラス」が平成18年10月より開設されているが、取り組み状況、効果を伺います。

(2) 県民への周知を強化する必要があると考えるが、県の対応を伺います。

5 泡瀬運動公園のテニスコートの老朽化や人工芝への改修が求められています。6月議会でも取り上げましたが対応を伺います。

6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	金城 勉(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 違法薬物汚染問題について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県内での違法薬物の実態、種類はどうか。(2) 中・高校生の被害実態と対策はどうか。(3) 大麻種子のネット販売での入手が報道されているが、法規制強化の取り組みはどうか。 <p>2 携帯やパソコンのインターネットによる問題について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 学校裏サイトの推移、実態把握はどうか。(2) ネットいじめの実態と対策はどうか。(3) ネット教育の取り組みはどうか。 <p>3 待機児童対策特別事業の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 待機児童対策特別事業で今年度予定の保育士研修などの実施状況はどうか。(2) 同事業による認可計画の市町村別の見通しはどうか。(3) 県の認可化事業計画はどうか。 <p>4 県立病院改革について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 公営企業法の全部適用について、適用前、適用後の変化はどうか。(2) 病院改革で医療機能の見直しをどのように検討しているか。(3) 病院改革で経営形態の見直しをどのように検討しているか。(4) 県立と地方独立行政法人、指定管理者制度、民間譲渡の違いは何か。また、それぞれどのように検討されているか。(5) 県立から他の経営方式に移行する議論もあるのか。(6) 精和病院を民間譲渡との報道があるがどうか。(7) 全国にも誇れる沖縄の県立病院の医療、救急医療体制や研修システムをどう守るか、県民への医療サービスをどう確保するか。(8) 県立病院改革で県民に求められることは何か。 <p>5 沖縄市母子生活支援施設(レインボーハイツ)への県補助について</p> <p>6 港湾整備事業及び海岸環境保護について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 中城湾港の活性化に向けた県の方針はどうか、また21世紀ビジョンへの位置づけはどうか。(2) 物流拠点の機能整備計画はどうか。(3) 中城湾港の西側埠頭と東側埠頭をつなぐ道路整備はどうか。(4) 中城湾新港地区護岸工事について(5) 比屋根湿地・泡瀬地区海岸改善計画について(6) 下水道未接続世帯の現状と対策について <p>7 農水産物(モズク)の生産体制や価格安定化への取り組みはどうか。</p> <p>8 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	新垣 良俊(自民党)	知事 関係部長等

質問要旨

1 農業行政について

(1) 本県農業の低迷要因の対策について

- ア 有機質の乏しい本県の土壌改良をどのような方法で改善していくのか伺いたい。
- イ 台風・季節風対策としての防風林整備がなかなか進まない中で、今後、どのように推進していくのか伺いたい。
- ウ 農業の就業者として、土木建設業者の農業への新規参入を積極的に推進する必要があると思うが、県はどのように取り組んでいくのか伺いたい。

(2) 農業振興に向けた取り組みについて

- ア 現在、市町村段階等で「エコツーリズム」や「グリーンツーリズム」を通じた取り組みが積極的に行われているが、県は今後どのような取り組みをしていくのか伺いたい。
- イ 亜熱帯性作物の高付加価値化への取り組みについては、現在、民間レベルで一部行われているが、県はどのような取り組みを行っていくのか伺いたい。
- ウ さとうきびの高付加価値化への取り組みとして、県はどのような取り組みを行っていくのか伺いたい。

(3) 農林水産関係の国庫補助事業に対する県負担率について

- ア 平成14年度からの「沖縄振興計画」期間中に県負担率が見直された事業はあるのか伺いたい。
- イ 今後どのような事業に対して、いつ時点で県負担率を見直そうとしているのか伺いたい。
- ウ 現在、嵩上げされている離島についても、県負担率を見直そうとしているのか伺いたい。

(4) 自然エネルギー(太陽光発電、風力発電)の利活用について

- ア 自然エネルギー(太陽光発電、風力発電)の利活用の現状について伺いたい。
- イ 今後、かんがい排水事業等の中で、自然エネルギーの利活用についてどのように考えているのか伺いたい。
- ウ 自然エネルギー施設の導入の要望が強い久米島のカンジン地区に自然エネルギーを導入した場合、年間どのくらいの電気代の節約が図られるのか伺いたい。

(5) カンショの生産振興について

- ア カンショ生産農家が今注目しているのが、久米島町で実施している根絶を目標とした防除の成否であります。生産振興上、大きな障害となっているイモゾウムシとアリモドキゾウムシの根絶状況について伺いたい。
- イ 特種病害虫特別防除事業の事業期間までに根絶することが可能かどうか伺いたい。

(6) 沖縄県家畜改良センターについて

- ア センターは、県内の酪農家で生産された生後2カ月齢前後の雌子牛を委託牛として酪農家から預かるか、あるいは県有牛として直接買い上げ、経済性の高い初妊牛として農家に供給する業務であるが、前年度の委託牛、県有牛の数を示してください。
- イ 委託費については、委託日数×1日当たりの委託費ということで算出しているが、飼料高騰による経営難から、委託から県に買い上げてもらう農家が多くなっていると思うがどうか。
- ウ 北海道から導入する乳牛とセンターの委託牛、買い上げ牛はおおむね24カ月齢の初妊

牛を供給することであるが、導入牛と委託牛はどう違うのか伺いたい。

I センターをより強化することが家畜の振興を図る上で大事であると思うが、県の見解を伺いたい。

2 離島観光の振興について

- (1) 平成18年の主要離島への入域観光客数を見ると、石垣島77万人、宮古島40万人、久米島9万1000人と伸びているが、座間味村、渡嘉敷村などの本島周辺離島の観光客数が伸びていないが、要因についてどういうことが考えられるか見解を伺いたい。
- (2) 観光・リゾートが県経済をリードする総合産業として、一層成長・発展していくためには県・市町村・業界の役割分担を行い連携しながら取り組むことが重要である。観光客の満足度を高めるには、施設の整備もまた重要であります。久米島町、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村のターミナルから船舶までの直射日光や雨を遮る屋根つき通路が整備されていないが、整備は必要と思うが、見解を伺いたい。

3 離島の土木建設行政について

- (1) 一般県道久米島一周線(真謝～下阿嘉)が平成7年度事業化により道路整備が施行されました。しかし、下部工の橋脚は何脚か完成していますが、上部の橋梁部が施行されていません。事業期間までに完成できるのか危惧しているが、工事が進まない理由について伺いたい。
- (2) 公共工事削減による受注機会の減少や請負単価の下落、昨年6月施行の改正建築基準法の影響により着工数が激減したことが原因で、業界を取り巻く厳しい現状にある。そのことは、県も認識していると思います。受注機会の増大に積極的に取り組むべきと思うが、県の見解を伺いたい。
- (3) 耐震構造計算書の偽装事件を契機に、再発防止を目的に改正された建築基準法が昨年の6月に施行され、構造計算適合性判定制度が導入されたが、手続の煩雑さ、確認審査の長期間化などにより混乱が生じ、経済問題にまで発展した。さらに、来年5月に施行予定の改正建築法により、新たな混乱が生じることが予想される。特に離島での影響が大きいと思うが、見解を伺いたい。
- (4) 久米島町への観光客の入域目的が多様化している。その一つにマグロ、カジキなどの大型魚の釣り目的で、クルーザーで来島するが、専用のマリーナがありません。白瀬川河口でマリーナの整備ができないか見解を伺いたい。
- (5) 粟国村の一周線も着工して16年になるが、まだ道半ばであります。工事が進まない理由について伺いたい。
- (6) 琉球エアークommunicuter株式会社は、来年6月1日から、現在、同路線に使用中のBN2B型機(9名乗り)の乗員確保が困難なことで、収支悪化による理由で運休することになっている。しかし、滑走路延長が実現できた場合には、DHC8型機(39名乗り)で運行再開する予定である。空港滑走路延長の早期実現について見解を伺いたい。

4 食品残渣の再生(リサイクル)飼料化について

- (1) 食品残渣の再生(リサイクル)飼料化(エコフィード)についてどういう認識をお持ちか県の見解を伺いたい。
- (2) 飼料価格は主原料のトウモロコシの高騰などで畜産農家に大きな影響を及ぼし、経営の破綻、廃業と厳しい状況にある。そういう中で、未利用の食品残渣を養豚飼料として活用している農家と民間団体がいるが、食品残渣が足りない現状だと言われている。今こそ、一般家庭の生ごみの分別化を進めることが大事だと思う。そこで、市町村において生ごみの分別化を促進するために、県の呼びかけで「市町村推進協議会」(仮称)を立ち上げることはできないか伺いたい。
- (3) 農林水産省の畜産統計(平成19年2月1日現在)によると、豚の飼養頭数で全国一位の鹿児島県が138万5000頭で、本県が23万4500頭、全国13位であるが、飼養頭数が鹿児島県の約17%であります。飼養頭数増を図るには、食品残渣の再生飼料化を促進することではないかと思うが、見解を伺いたい。

5 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
7	17分	桑江 朝千夫(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 中城湾港について</p> <p>(1) これからの中城湾港の展望について</p> <p>(2) 湾港管理体制は、現在中城湾港建設事務所が管理を行っているが、今後はどう考えるか。</p> <p>(3) 西・東埠頭の連結、湾港内道路の開設について</p> <p>(4) リサイクルポートの活用について</p> <p>ア 稼働状況・現状について伺う。</p> <p>イ 今後の進展について、どう取り組むのか。</p> <p>(5) 定期船就航実験について</p> <p>ア 県は、持続可能な定期船実験とするための施策はあるか。</p> <p>(6) 港湾整備について</p> <p>ア 物流拠点の港らしく機能整備を望む。</p> <p>イ 冷凍庫、倉庫、ガントリークレーン等。</p> <p>(7) 東部海浜開発(中城湾港泡瀬地区埋立事業)について</p> <p>ア 該事業の名称について</p> <p>イ 該事業は観光立県沖縄のかなめとなりうるか。</p> <p>ウ 沖縄市が策定する土地利用計画に県は連携をとり、積極的に策定に加わるべきと考えるか。</p> <p>2 建築行政について</p> <p>(1) 乙第4号議案「沖縄県建設業審議会設置条例」について</p> <p>ア 設置目的を伺う。また、建設業の改善に関する重要事項とは。</p> <p>(2) 県発注のあり方、方法について</p> <p>ア 工区分割する理由・目的を伺う。</p> <p>イ 工区分けした物件を同事業を複数区同時に同企業が受注するような事態は好ましくないと考える。今後の対処は。</p> <p>3 沖縄職業能力開発大学校(ポリテクカレッジ)について</p> <p>(1) 国の行革「雇用能力開発機構の存廃についての方針」を県はどう考えるのか。</p> <p>(2) ポリテクカレッジ所在自治体はその堅持を強く求めているが、連携をとるか。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

12月11日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	新垣 哲司(自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 北朝鮮問題について</p> <p>(1) 6カ国協議が一定の進展を見せ、北朝鮮の核・ミサイル問題解決の期待が高まっているが、我が国の安全保障に対する脅威の解消につながるには至っていない。特に、米軍基地が存在する本県は標的になりかねないとの懸念も示されているが、知事は本県への影響をどのように受けとめているか。</p> <p>(2) 北朝鮮による日本人拉致問題については、国際社会の認識も大きく変わり、北朝鮮に対する圧力も強まってきているが、解決の兆しは一向に見えないというのが現状である。知事は最近の状況をどのように認識しているか伺いたい。</p> <p>(3) 警視庁が日本人拉致容疑で、北朝鮮元工作員の国際手配を行うなど、国内においても動きが活発化している。本県の拉致被害者も含め、捜査の進展状況を説明願いたい。</p> <p>2 医療問題について</p> <p>(1) 成人T細胞白血病の対策について、感染防止対策としてホームページに掲載した方がよいか、それとものせない方がよいか、当局の考えを示してください。</p> <p>(2) 母子感染と予防法及びそれに伴うリスクについて説明し同意を得た妊婦への、抗体検査の実施比率はどのようになっているか。</p> <p>(3) 無料診断実施について県はどのように考えるか、また若い世代にこの病気のことを認識させるためにはどのような方法があるか、当局の考え方を伺ってください。</p> <p>(4) 上記(3)の支援等を行うとすると、どのような方法で行うか伺います。</p> <p>(5) 母子感染をどのように抑える対策をとっていくのかお聞かせ願いたい。</p> <p>(6) 県・市・町・村において、HTLV-1キャリア調査の結果パニックを起こさないようにする方策について伺いたい。</p> <p>(7) 宮崎県が、感染防止対策としてホームページに掲載していますが、本県はどのように思われますか。</p> <p>3 我が党の代表質問との関連について</p>			